

2025年度 事業計画書

2025年4月1日～2026年3月31日

I	2025年度事業計画 事業の体系図	1
II	2025年度事業計画一覧	2

公益財団法人いわさきちひろ記念事業団



2025年度事業計画一覧

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所
----	-------	------	------	------

公1 絵本美術館の設置運営

ア 絵本等に関する展覧会、講演会、ギャラリートーク等の開催

■ちひろ美術館・東京での展覧会、講演会、ギャラリートーク等				
【いわさきちひろ展】	ちひろのアルバム	ちひろが残した60冊以上にのぼるアルバムには、生後から晩年までのちひろの姿が収められている。アルバムの写真とともに作品を見ると、日々の暮らしと創作が密接に関わっていたことがわかる。本展では、2024年までに取り組んだ写真のデジタルデータアーカイブをもとに、新規収蔵を含めた作品とともに貴重な写真資料を展示し、ちひろの創作の源をさぐる。	3月1日～5月11日	ちひろ美術館・東京
	アンデルセン生誕220年 ちひろと見つめるアンデルセン	2025年は、H.C. アンデルセンの生誕220年。ちひろはアンデルセンの童話を題材とした絵の制作にくりかえし取り組み、物語をいかに表現するか工夫を重ねた。その原動力には、時代や場所を超えて普遍的な人間の心情を描き出しているアンデルセンへの共感と尊敬があった。本展では、ちひろの絵やことばを通して、アンデルセン童話や人物の魅力を紹介する。	5月16日～7月21日	ちひろ美術館・東京
【企画展】	西巻茅子 はじめての絵本 『ポタンのくに』そして『わたしのワンピース』	西巻茅子（1939-）は、のびのびとした線と色で心をこめて絵本を描き、多くの子ども読者たちに支持されている。本展では、新規収蔵作品である最初の絵本『ポタンのくに』（1967年・こぐま社）と、ベストセラーとなった3作目の絵本『わたしのワンピース』（1969年・こぐま社）のリトグラフや資料を展示し、西巻茅子の絵本づくりの魅力に迫る。	3月1日～5月11日	ちひろ美術館・東京
	ヒロシマ・トマト 司修展	司修（1936-）は、画家、絵本作家であると同時に、文筆家や装丁家としても知られている。幼少期を戦争のなかで過ごした司修は、戦中戦後に刻まれた生々しい記憶を原動力としながら、問題意識を抱えて、折々に感じるものをさまざまな形で表現し続けてきた。戦後80年を機に開催する本展では、『まちんと』（松谷みよ子文 偕成社）などの戦争を描いた作品を中心に、初期から近作までの司修の作品を紹介する。	5月16日～7月21日	ちひろ美術館・東京
	戦後80年 ちひろと世界の絵本画家たち 絵本でつなぐ「へいわ」	2025年は日本の敗戦から80年にあたる。戦争を経験した作家や画家たちは、二度と戦争を繰り返してはならないという切実な思いを絵本にこめた。その思いは次の世代、さらにその次の世代の絵本の作り手たちにも受け継がれ、子どもたちの心にたくさんの平和の種をまいてきている。本展では、ちひろや世界の絵本画家たちが平和への思いを込めて描いた絵本を紹介する。	7月26日～10月26日	ちひろ美術館・東京
	装いの翼—いわさきちひろ、茨木のり子、岡上淑子の美と自由	いわさきちひろ（1918-1974）、茨木のり子（1926-2002）、岡上淑子（1928-）は、第二次世界大戦後、それぞれ絵本画家、詩人、美術家として独自の表現を切り拓いた。作家・行事千絵氏の著書をもとに、「装い」をテーマに3人の女性作家の素顔に迫る。それぞれの作品とことば、愛用の品や写真などを展示し、三者三様の美意識や生き方と、自由と平和を求める共通の思いを浮き彫りにする。	10月31日～2026年2月1日	ちひろ美術館・東京
【講演会】	スライドトーク 写真から見るいわさきちひろ	「ちひろのアルバム」展に関連し、アーカイブ担当者が写真を通してちひろについて語る。	3月20日	ちひろ美術館・東京
	西巻茅子講演会	「西巻茅子 はじめての絵本」展に関連し、西巻茅子氏が自作について語る。	4月6日	ちひろ美術館・東京
	司修講演会	「ヒロシマ・トマト 司修展」に関連し、司修が自身の創作について語る。	展示会期中	ちひろ美術館・東京
	「絵本でつなぐ「へいわ」」展関連講演会	「絵本でつなぐ『へいわ』」展に関連して、講演会を開催する。	展示会期中	ちひろ美術館・東京
	「装いの翼」展関連講演会	「装いの翼」展に関連して、トークイベントを開催する。	展示会期中	ちひろ美術館・東京
【ギャラリートーク】	松本猛ギャラリートーク	いわさきちひろの息子・松本猛が、母の思い出や作品にまつわるエピソード、展示の見どころなどを語る。	年4回（各会期1回）	ちひろ美術館・東京
	学芸員、普及担当者によるギャラリートーク	開催中の各展示の見どころ等を、作品を見ながら学芸員や普及担当者が解説する。	月2回（第1・3土曜日）	ちひろ美術館・東京
■安曇野ちひろ美術館での展覧会、講演会、ギャラリートーク等				
【いわさきちひろ展】	ちひろの いろ せん かたち	やわらかな色彩で描いた子どもの絵で広く知られるちひろは、水彩絵の具の色使いはもちろん、線の表現や画面構成にも工夫を凝らして、新たな表現を追求し続けた。本展では、ちひろの技法を楽しく体験できるアートユニットplaplaxのインタラクティブ作品も取り入れながら、ちひろの色、線、形の表現や技法に注目する。	6月6日～8月31日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろ 本を読む人 描く人	ちひろは幼いころからさまざまな本を読み、戦後、子どもの文化として児童書や絵本が発展していくなかで画家として活躍した。彼女の若いころの読書体験で得た感動は、その制作に生かされている。本展では「本」を読み継ぐこと、描くことについて、ちひろの絵や絵本を通して考える。	9月5日～11月9日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろの人生	ゆかりの品々や素描・スケッチをはじめ、影響を受けた画家の作品等を展示するとともに、ちひろの人生を紹介するパネルや資料により、ちひろの絵と人生、人柄などを伝える。	通年	安曇野ちひろ美術館
	子どもの展示室「トットちゃんの部屋」	『窓ぎわのトットちゃん』に登場する電車の教室の一部再現や、ちひろの絵で楽しむトットちゃんのお話、トモ工学園の紹介など、トットちゃんの世界を子どもたちの目線で楽しむことのできる展示を行う。	通年	安曇野ちひろ美術館
【世界の絵本画家コレクションの展示】	ちひろ美術館コレクション展 もようをみよう	動物の模様や衣装の模様、装飾的な飾り罫など、ちひろ美術館コレクションの作品に描かれたさまざまな「模様」に注目する。	6月6日～8月31日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろ美術館コレクション展 アンデルセンの絵本	2025年は、アンデルセンの生誕220年にあたる。これを機に、ちひろ美術館コレクションのなかから「雪の女王」や「すずの兵隊」など、アンデルセンの物語を描いた作品を展示する。	9月5日～11月9日	安曇野ちひろ美術館

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所
【企画展】	戦後80年 ちひろと世界の絵本画家たち 絵本でつなぐ「へいわ」	2025年は日本の敗戦から80年にあたる。戦争を経験した作家や画家たちは、二度と戦争を繰り返してはならないという切実な思いを絵本にこめた。その思いは次の世代、さらにその次の世代の絵本の作り手たちにも受け継がれ、子どもたちの心にとくさんの平和の種をまいてきている。本展では、ちひろや世界の絵本画家たちが平和への思いを込めて描いた絵本を紹介する。	3月1日～6月1日	安曇野ちひろ美術館
	てなわけ20年。魅惑のチョウ、シンタ展	ナンセンスの王様とも称される長新太(1927-2005)は、漫画、イラストレーション、絵本など、多彩な分野で活躍した。独特なユーモアに満ちた作品は、没後20年経った今も、幅広い世代を魅了している。本展では、魅力的なキャラクターが登場する作品や奇想天外な展開をみせる絵本などを展示し、長新太の魅力を紹介する。	6月6日～8月31日	安曇野ちひろ美術館
	ヒロシマ・トマト 司修展	司修(1936-)は、画家、絵本作家であると同時に、文筆家や装丁家としても知られている。幼少期を戦争のなかで過ごした司修は、戦中戦後に刻まれた生々しい記憶を原動力としながら、問題意識を抱えて、折々に感じるものをさまざまな形で表現し続けてきた。戦後80年を機に開催する本展では、『まちんと』(松谷みよ子文 偕成社)などの戦争を描いた作品を中心に、初期から近作までの司修の作品を紹介する。	9月5日～11月9日	安曇野ちひろ美術館
【絵本の歴史展示】	絵本の歴史	「死者の書」や時禱書、絵巻物から現代の絵本にいたるまで当館のコレクションをもとに絵本とイラストレーションの歴史を、「手描き本の時代」「版本の時代」「子どもの本の時代(印刷本)」に分けて紹介するほか、「戦時下の子どもの本」も展示する。	通年(会期ごとに入れ替え)	安曇野ちひろ美術館
【講演会】	講演会	「ヒロシマ・トマト 司修展」に関連し、司修が自身の創作について語る。	展示会期中	安曇野ちひろ美術館
【ギャラリートーク】	学芸員、普及担当者によるギャラリートーク	開催中の各展示の見どころを、学芸員や普及担当者が解説する。	月1回(第3土曜日)	安曇野ちひろ美術館

■他館と提携する展覧会、講演会、ギャラリートーク等

【展覧会】	いわさきちひろ×plaplax あれこれいのち	ちひろの作品とplaplaxのインタラクティブ作品による「自然」をテーマとした展覧会を、開催館と協力して行う。	4月3日～5月18日	明石市立文化博物館
	ピエゾグラフ作品によるいわさきちひろ展	ピエゾグラフ作品によるいわさきちひろ展を、開催希望自治体、団体、施設と協力して行う。	通年	「ちひろの生まれた家」記念館(福井県越前市)
			3月29日～5月6日	ミツカンミュージアム(愛知県半田市)
			9月～10月	ミツカンミュージアム(愛知県半田市)
	自由いっぱい!奇想天外!長新太 ナンセンス・ワールド	没後20年となる長新太の展覧会を、開催館と協力して行う。	7月5日～9月21日	福井県ふるさと文学館
他館での展覧会への作品の出展	他館からの求めに応じて、他館での展覧会へ当館所蔵作品を出展する。	随時		
【ギャラリートーク】	学芸員によるギャラリートーク等	開催中の展示の見どころ等を、作品を見ながら学芸員が解説する。	随時	

イ 絵本等に関する作品・資料の収集・保存、並びに調査・研究

作品・資料の収集	絵本原画、関連資料等の収集	未来に継承すべき優れた芸術性を持つ絵本原画、関連資料等の収集を進める。	通年	両館
	絵本と絵本の歴史資料の収集	未来に継承すべき優れた芸術性を持つ絵本の資料・絵本の歴史資料の収集を進める。	通年	両館
	絵本、関連書籍等の収集	優れた芸術性を持つ、魅力的な絵本の収集を進める。コレクション画家の手がけた絵本資料の収集を進める。	通年	両館
作品・資料の保存	作品・資料の保存管理	絵本原画を中心とした収蔵作品の適切な保存管理を行なうとともに、画像データベース等での作品整理を進める。	通年	両館
	作品・資料のデジタル・アーカイブズ	いわさきちひろと世界の絵本画家の作品・資料のデジタル・アーカイブズを、災害時対応にも備えつつ、進める。	通年	両館
	作品・資料の修復	必要に応じて作品や資料の修復を行う。	随時	両館
作品・資料の調査・研究	コレクション作家等の調査・研究	2027年の開館50・30年に両館で開催する展示、ならびに他館と提携して行う展覧会も視野に入れながら、コレクション作品の表現・技法、作家の人生、芸術観、時代背景等について、調査・研究を行い、調査資料のドキュメンテーションを進める。	通年	両館
	作品・資料等のアーカイブズ	作品、図書、遺品、その他資料のデータ整備ならびにデータベース登録を進め、展示やさまざまな企画等の充実と合理化を進める。2027年の開館50・30年の周年誌編纂にむけ、当財団のこれまでの活動記録を整理し、デジタル化を進める。	通年	両館
	絵本とイラストレーションの歴史の調査・研究	絵本とイラストレーションの歴史に関する資料の整理、調査・研究を進める。	通年	両館
	絵本等に関する調査・研究	新旧の絵本の表現、テーマ、絵本の造形について、外部の研究者とも連携しながら調査・研究を進める。	通年	両館

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所
作品・資料の調査・研究	研究成果の公開 公式サイトでの作品、展示解説掲載	調査、研究の成果を展覧会等に活かすとともに、作品解説、展示解説等にまとめ、逐次、公式サイトで公開し、国内外にむけて発信していく。	通年	両館
	研究成果、活動成果の公開 「美術館だより」の発行（展示会期ごと）	研究や活動の成果を、展示紹介、活動紹介等にまとめ、展覧会にあわせて発行する「美術館だより」や公式サイトを通じて、公開していく。	通年	両館

ウ 絵本等に関する教育活動

ワークショップ・講座の開催	ワークショップ ちひろの水彩技法体験	ちひろの水彩技法の特徴のひとつである「にじみ」を使って、実際に作品を制作するワークショップを行う。	随時	両館
	展示関連 教育普及プログラム	展示関連企画として、展示会期ごとに、教育普及プログラムを実施する。	年4回	ちひろ美術館・東京
		「絵本でつなぐ「へいわ」」展に関連し、来館者が記した平和のメッセージを展示する「想いをつなぐ にじみのガーランド」を開催する。	3月1日～6月1日	安曇野ちひろ美術館
	親子で楽しむ文化講座 わらべうたあそび	0、1、2歳の乳幼児とその保護者を対象にした、わらべうたあそびの会を開催する（講師：服部雅子・西東京市もぐらの会代表、はとさん文庫主宰）。	年2回	ちひろ美術館・東京
	あかちゃんのための鑑賞会	0、1、2歳の乳幼児とその保護者を対象にした、あかちゃんのための鑑賞会を開催する。	年1回	ちひろ美術館・東京
	子どものための鑑賞会	3歳児～小学1年生とその保護者を対象にした、幼児～児童のための鑑賞会を開催する。	年1回	ちひろ美術館・東京
	絵本でつなぐ「へいわ」展関連 映画上映会	「絵本でつなぐ「へいわ」」展に関連し、映画「窓ぎわのトットちゃん」の上映会と八鍬新之助監督のトークを開催する。（松川村図書館との共催事業）	5月9日、5月10日	松川中学校・松川村すずの音ホール
	あかちゃんと保護者のための鑑賞会	乳幼児とその保護者を対象に、子どもといっしょに美術館を楽しめるファーストミュージアムデーを年2回開催し、展示を中心に館内各所での鑑賞会や、絵本の読み聞かせ、ふれあい遊びを行う。	年2回	安曇野ちひろ美術館
	ちひろの絵による『窓ぎわのトットちゃん』ワークショップ	安曇野ちひろ公園トットちゃん広場と安曇野ちひろ美術館館内において、『窓ぎわのトットちゃん』のさまざまなエピソードを元に、関連したワークショップ等を、地域の人々や地元の学校の協力を得て、開催する。	随時	安曇野ちひろ公園・安曇野ちひろ美術館
ちひろ忌	ちひろが亡くなった8月8日にあわせてギャラリートーク等を行い、ちひろの業績や人生を伝えるとともに、世界中の子どもへのあわせと平和を願ったちひろの思いを、来館者とともに考える機会とする。（含むオンラインでの開催）	8月8日	両館	
学校との提携活動	地元中学校との提携活動—中学生ボランティア	キャリア教育の一環として、松川中学校と連携し中学生ボランティアを育成、来館者を対象にした当館での体験ワークショップ等の活動を行う。	夏休み期間中	安曇野ちひろ美術館
	出前授業、出前講座	ちひろの画業や絵の魅力を伝え、その技法を体験するワークショップを含めた出前授業、出前講座を、学校等に出向いて実施する。	随時	両館
	学校団体への各種教育プログラム	授業で来館する学校に対し、開催中の展覧会の鑑賞教育をはじめ、各種教育プログラムを行う。	随時	両館
	スクールミュージアム	来館できない学校の生徒が、ちひろの作品を鑑賞できるよう、長野県内の希望校を対象に、複製画等の貸し出しを行う。	随時	安曇野ちひろ美術館
	教員向け内見会・内見週間の開催	教員を対象とする内見会・内見週間を開催、博学連携の活動を行う。	随時	両館
	職場体験実習・博物館実習生・インターン生の受入	練馬区近辺、松川村近辺の中学・高等学校からの職場体験実習を受け入れ、美術館業務の体験を提供して博学連携の活動とする。また、全国の大学で学芸員課程を受講している学生から、当館で博物館実習を希望する者を受け入れる。	随時	両館

エ 絵本等に関する普及活動

絵本等の公開・閲覧	両館での絵本図書室・絵本カフェによる絵本の公開・閲覧	長きに渡って愛され続ける絵本とともに、新刊等幅広い国内外の絵本を、絵本の専門美術館としての視点で選書し、芸術性に優れた魅力的な絵本を配架し、両館の絵本図書室・絵本カフェ等での閲覧に供する。	通年	両館
絵本等の紹介活動	コレクション画家をはじめ、世界の優れた絵本画家たちの絵本等の紹介、頒布、レファレンス、読み聞かせ指導、読書指導	当館の視点で選書した国内外の絵本を、絵本図書室、公式サイト等で紹介、普及、頒布するほか、絵本の選び方や読み聞かせの方法等、来館者をはじめ、幅広い求めに応じて、適宜、選書や読み聞かせの方法等についてアドバイスを行い、日々の暮らしのなかで身近に絵本を楽しめるよう支援していく。	随時	両館
読み聞かせ会	絵本のじかん（絵本の読み聞かせ）、絵本の広場等の開催	絵本の理解を深め、展示鑑賞をより充実したものとするため、両館それぞれで、定期的に絵本の読み聞かせ会を開催する。また同様に、学校・保育園等の団体鑑賞の希望に際して、読み聞かせを行っていく。	随時	両館
地域・団体との提携による複製画展	各地の自治体、地域、団体との提携による、複製画展等の開催	各地の自治体、地域、団体等の求めに応じて、複製画展や関連の講演会を開催するとともに、絵本に親しむ機会を設け、読み聞かせ会等を実施する。	随時	両館
	施設・団体・学校との提携による、平和のパネル展の開催	ちひろの平和への願いを伝えるために、平和の絵本2冊のパネルを、希望する施設・団体・学校に貸し出す。	随時	両館

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所
病院との提携活動	季節ごとの病院内展示・ワークショップの開催	来館が難しい患者やその家族を対象に、病院内での複製画展を行うとともに、絵本に親しむ機会を設ける。求めに応じて、院内での読み聞かせ会、水彩技法体験ワークショップ等を実施する。(含むオンラインでの開催)	随時	東京女子医科大学病院、聖路加国際病院、長野県立こども病院、埼玉医科大学総合周産期母子医療センター、国立成育医療研究センター、同センター医療型短期入所施設「もみじの家」、富山県リハビリテーション病院・こども支援センター、聖マリアンナ医科大学病院

オ 絵本等に関する国際交流

海外における展覧会・講演会、ワークショップ	海外における、ちひろや日本の絵本展ならびに教育普及活動の展開	ちひろの作品や絵本、ちひろ美術館の活動の海外普及を行う。 ①インドネシアのジョグジャカルタにて、いわさきちひろと当館コレクション画家のピエゾグラフ作品の展示とワークショップ開催にむけた準備を進める。 ②2027年のエリック・カール美術館（アメリカ）開館30周年・ちひろ美術館開館50周年を記念した交換展にむけた準備を進める。	随時 ①2025年7月26日(土)～8月3日(日)予定	両館 ①インドネシア
海外からの研修受入と交流	海外の絵本関係者の研修・交流	海外の絵本画家や編集者など絵本関係者を対象に、求めに応じて絵本に関する研修を受け入れる。あわせて地元の子もたちとの交流を行い、相互理解と、絵本文化の普及・発展を促進する。(含むオンラインでの実施)	随時	両館
海外の関係機関とのネットワーク	コレクション画家たちとの交流	当館の開館50周年に向け、海外のコレクション画家たちや、その遺族たち、そして絵本画家たち全般との積極的な交流を通じて、絵本文化の普及と発展を促進する。(含むオンラインでの実施)	随時	両館
	館の多言語情報のより多面的な発信とコンテンツの充実	さまざまな国や言語の来館者に対応すべく、館や展示の紹介等を、印刷物、公式サイト、SNS、動画コンテンツなど多様な媒体を通して、魅力的効果的に発信していく。	随時	両館
	絵本や子どもの本の専門機関との提携活動	絵本や子どもの本の国際的専門機関であるIBBY (International Board on Books for Young People)とその日本支部のJBBY、シンガポールのAFCC(Asian Festival of Children's Content)、インドネシアのTacita (Pesta Cerita Anak, Indonesian Children's Story Festival)、スロヴァキアのBIB (Biennale of Illustrations, Bratislava) 等、ならびに日本国内の絵本学会、絵本ミュージアムネットワーク等との交流を深め、絵本文化発展のための交流、相互協力に努める。	随時	両館
	絵本美術館との連携強化	国を超えた絵本美術館ネットワークづくりのため、アメリカのエリック・カール美術館をはじめとする海外の絵本美術館や絵本図書館等と、絵本を通じた交流を推進する。	随時	両館

カ 絵本等に関する支援活動

絵本の専門家への支援活動	絵本の研究者、絵本作家等への研究・創作支援	絵本の研究を目指す学生、専門家、また、絵本作家等の絵本の専門家を対象に、求めに応じて、それぞれの研究テーマを精査した上で、当財団コレクションの絵本原画、絵本、資料を活かして研究や活動を支援していく。	随時	両館
	絵本美術館に関する研究者、専門家等への研究支援	絵本美術館について学ぶ学生や専門家を対象に、求めに応じて、それぞれの研究テーマを精査した上で、当財団の絵本専門美術館の設置・運営に関する経験と実績、資料を活かした研究や活動を支援していく。	随時	両館
展覧会鑑賞者・絵本受容者への支援活動	鑑賞者のより深い作品・作家理解のための解説、ガイドブックの作成、並びに画集・複製画の紹介、頒布	鑑賞者が作品や作家に興味を持ち、理解を深めるための手助けとして、解説やガイドブック、ワークシート等を作成、配布するとともに、画集や複製画の紹介、頒布等を行い、それらを通して鑑賞を助ける。(含むオンラインでの配信)	随時	両館
	館内での絵本レファレンス、絵本紹介、読み聞かせ等への支援	絵本の問い合わせ等に随時対応する他、来館者を対象に、求めに応じて、絵本の紹介や、読み聞かせの方法等についてアドバイスを行う等、支援していく。(含むオンラインでの配信)	随時	両館
	地域の図書館等の社会教育施設、地元保健センター等の社会福祉施設と提携した絵本の紹介活動と読み聞かせ等への支援	地域の保育園、幼稚園、学校、図書館等の社会教育施設、地元保健センター等の社会福祉施設等と協力し、求めに応じて、絵本の選び方や読み聞かせの方法等についてアドバイスを行い、地域住民が生活の中で日常的に絵本を楽しめるよう支援していく。	随時	両館
	展覧会鑑賞のアクセシビリティ向上	東京・安曇野館ともに、日本語を母語としない方や、視覚・聴覚障害をお持ちの方を対象に、スマートフォンからの音声や文字情報による解説を多言語で提供し、利用者のニーズに応じていく。また、両館ともに、障害者手帳提示の方と介添え1名までの入館料を無料とするなど、様々なニーズを持つ来館者の展覧会鑑賞を支援するためのアクセシビリティ向上を進める。	随時	両館
地域の子育て支援団体との提携活動	地域の子育て支援団体等と提携した絵本の紹介活動と読み聞かせ等への支援	地域の子育て支援団体や保護者らのグループ等と協力し、求めに応じて、絵本の選び方や読み聞かせの方法等についてアドバイスを行い、地域住民が生活の中で日常的に絵本を楽しめるよう支援していく。(含むオンラインでの配信)	随時	両館

収1

その他この法人の目的を達成するために必要な活動	ミュージアムショップの運営	来館者の展覧会鑑賞がより豊かなものとなるよう、ミュージアムショップの運営を行う。	通年	両館
-------------------------	---------------	--	----	----